

文部科学省選定 2005年教育映像祭最優秀作品賞・文部科学大臣賞

映画は、重要無形文化財「刺繡（ししゅう）」の保持者（人間国宝）である福田喜重（ふくだきじゅう）が日本の伝統工芸・刺繡の技術により、訪問着『和（やまと）』を完成させるまでを克明に記録した。



刺繡はひたすら一針、一針、ひたすら刺していく、集中力と根気の必要な仕事で、そのわざを組み合わせると織りや染めにはない刺繡独特の表現も可能だ。福田喜重の刺繡の特徴は、従来分業で行われていた生地を選択、地染め、箔押しなどを自ら手がけ、一貫した制作をするところにある。

1932年（昭和7年）京都に生まれ、1948年、父である刺繡家、福田喜三郎に師事し、多くの繡法と各種の伝統的な刺繡技法を体得した。刺繡技法による表現の可能性を追求し、活発な創作活動を展開している。

映画では、作品の構想から下絵、引き染め、彩色、箔置き、繡（ぬい）までの一貫した制作を工程順に追い、記録する。そして刺繡の仕事に情熱を傾ける福田の人となりとともに、刺繡本来の重厚な雰囲気、現代的に表現する福田の「わざ」、その創作の世界を描き出す。

記録
フィルム
カラー／34分
日・英語版

- 企画
文化庁
- 協力
京都国立博物館
東京国立博物館
東京国立近代美術館
細見美術館
喜多院 高台寺
興福院
福田工芸染繡研究所

スタッフ

- 製作
山本孝行
- 脚本・演出
村山正実
- 演出助手
山田和広
- 撮影
西山東男
- 撮影助手
森 英男
山屋恵司
- 照明
本橋俊男
- 録音
荒井富保
- 効果
帆刈幸雄
- タイトル
菁映社
- 編集
吉田栄子
- ネガ編集
加納宗子
- 選曲
徳永由紀子
- 録音スタジオ
アオイスタジオ
- 現像
IMAGICA
- ナレーター
杉本るみ